

5-5

道路法令 [道路関係諸法]

建設工事を進めていく上で、道路との関わりは深い。まずは重機の移動や資材の搬入にあたっては、道路上の移動は避けられない。それに加えて工事進捗の都合上、作業区画が一時的に道路上にせり出すケースも少なくない。

演習問題

車両の総重量等の**最高限度**に関する次の記述のうち、車両制限令上、正しいものはどれか。

ただし、高速自動車国道または道路管理者が道路の構造の保全および交通の危険防止上支障がないと認めて指定した道路を通行する車両、および高速自動車国道を通行するセミトレーラ連結車またはフルトレーラ連結車を除く車両とする。

- ①車両の総重量は、10 t ②車両の長さは、20m
③車両の高さは、4.7m ④車両の幅は、2.5m

ポイント

道路（一部の私道を含む公道全般）を走行する車両には、構造上の規格の制限がある。これは長さや幅、高さは無論のこと、重さや回転半径に関しても定めがある。特に重さに関する規定は、どこの箇所を見た重さなのか注意が必要。

解説

まず、ただし書き以降の部分は特殊な車両に関するものであり、あまり気にしなくてよいでしょう。一般車両に関する規格について、三次元上の3つの寸法の最大値は以下の通りです。

- ・全長：12m
- ・全幅：2.5m
- ・全高：3.8m

これを超える車両は、特別に許可を得なければ道路上を走行することはできません。この諸数値は基本ですから、一般常識レベルで知っておくべきでしょう。



車両の制限の例



最大寸法いっぱいになられた自動車の例

例題の選択肢を見ると、的外れな数値が多いことに気がきます。「総重量」とは人や貨物等を含んだ全ての重さです。大型貨物車の最大積載量が10tであるから、少なくともこの時点で10tを超えることがわかります。

長さ20mは一般的な鉄道車両の1両分の長さですから、これも非現実的です。高さについてはあまり馴染みがありませんが、踏切道での制限高さが一般的に4.5mであることから判断できます。